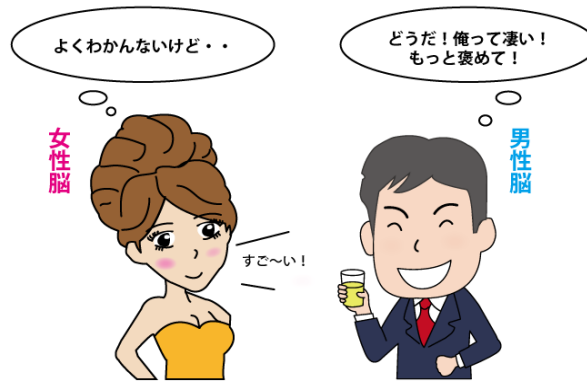


■キャバ嬢接客マニュアル (キャバ嬢は男性脳を理解すべし！)

キャバ嬢は

お客様の
「男性脳」を

理解すべし！



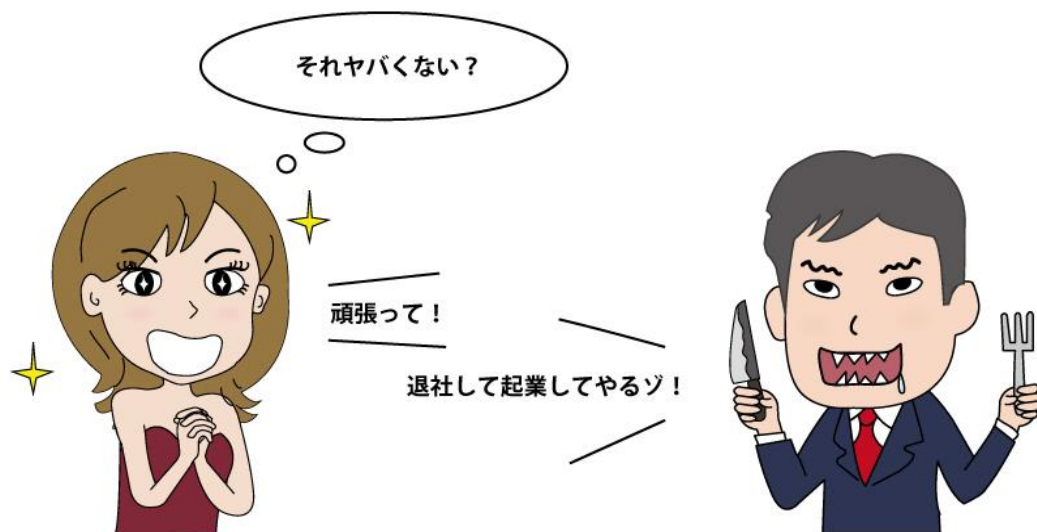
○キャバ嬢の接客では、まずは女性と男性の違いを理解する事！

普段の生活の中でも、男女のコミュニケーションにおいて、よくすれ違ったりするものですがそれは男性と女性では、思考の構造(本能)が全く違うからです。従って、キャバ嬢の接客において、お客様の男性脳を理解する事は、とても重要です。男性の本質を理解しないまま、女性の思考で接客すると、どうしてもすれ違いが生じてしまうからです。誰しも、自分をよく理解してくれる人と接していた方が心地よいものなのでしっかりと、男性の特性を理解して、接客に励みましょう！

【目次】

○男性は、常にハングリーな生き物である	3
○男性は女性に、そのままの自分を受け入れて欲しい	4
○男性は女性を支配したい	5
○男性は身近な物事が見えにくい	6
○男性は、女性の話が理解できない事が多い	7
○男性は縦社会で生きている	8
○相槌は、ほどほどに	9
○お客様に質問した答えはしっかり覚えておく	10
○男性は、女性に褒めて貰いたい	11
○男性にダメ出しは厳禁	12
○男性にとって食事はお腹を満たす事	13
○男性は、女性に頼られるだけで心地よい	14
○男性は、自分で言った事を忘れる生き物である	15
○男性は、女性に好意を持たれて嫌な気がしない	16
○「好みの男性のタイプは？」と聞かれたら	17
○男子スタッフもお客様と同姓だという事を忘れてはいけない	18

○男性は、常にハングリーな生き物である



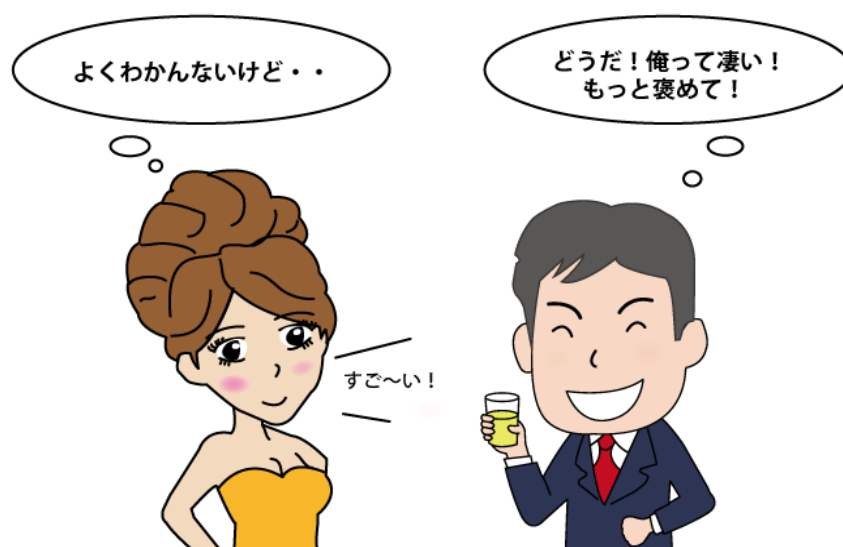
男性は「獲物を狩る」本能が備わっており
何もない状態から、「得る」という思考が働いています。
ハングリー精神が旺盛な生き物なのです。

従って、常に「お金」「地位」「名誉」と言ったモノを求めてしまうのです。
その為には、今まで培った全てを捨ててでもチャレンジしてしまう事があります。

女性は、常に「安定」「安心」を求めているので
男性のそう言った考え方が、なかなか理解できない所がありますが
そんな考え方を否定せず、しっかりと話を聞いてあげましょう。

特に全てを捨てて何かに挑戦しようとしている男性は、周りから否定されている事が多いでしょう。
そんな男性を認めてあげる事が、とても大切なのです。

○男性は女性に、そのままの自分を受け入れて欲しい



男性は、女性に対して自分の全てを受け入れて欲しいという本能があり無意識にそんな思考が働いています。しかし、女性は常に自分の価値を高めたいという思考が働くので、「そのまま」を受け入れるのは苦手です。自分も成長したいので、相手にも成長して欲しいとってしまうのです。

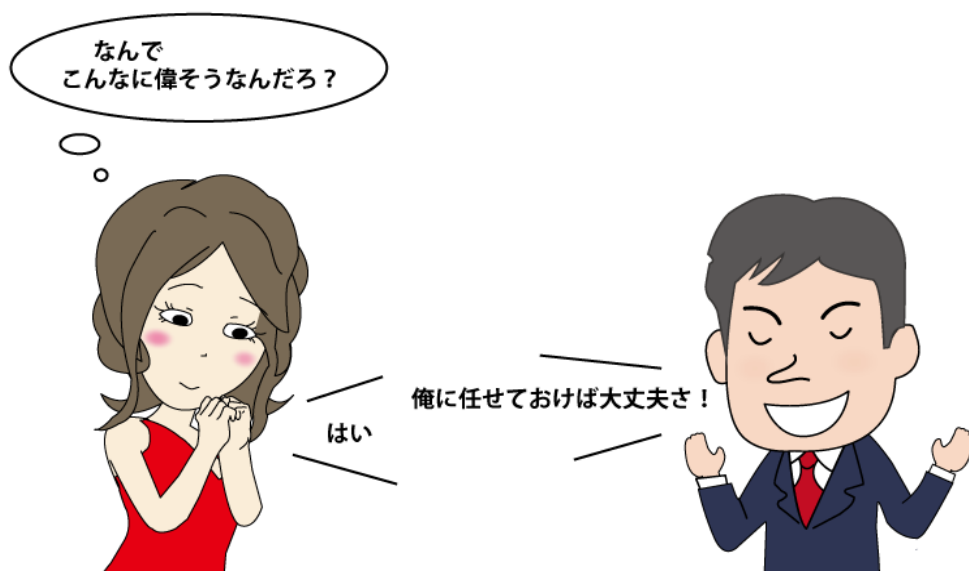
従って、「もっとこうしたら？」「もっとああすれば？」と言うような親切なアドバイスで告げた言葉でも、男性によっては、自分が否定されていると感じたり自分を攻撃していると受け止めてしまう人もいますので気を付けましょう。

そして、男性がキャバクラに通うのは今のままの自分を受け入れてくれる場所だからという事を忘れてはいけません。

男性の中には叱られたい願望が強い方も居ますが「叱る」という行為は、自分を気にかけてくれているという思いが含まれるので否定されたとは、感じないのです。

男性にとって、家庭は妻の領域であり、自分より妻を優先する場所なので自分の全てを受け入れてくれる場所ではないとそう感じています。仕事で周りに気を使い、家庭で妻に気を使いながら過ごすのが男性でキャバクラに通うのは、そのままの自分を受け入れて欲しいからなのです。

○男性は女性を支配したい



男性は、強い女性より弱い女性に魅力を感じる生き物です。
その理由は、男性特有の「支配欲求」が満たされるからです。

男性からすれば、女性は「守る対象」であり、守って貰う相手ではありません。
従って、常に自分が上に立つ事を望みます。
「そんな考え方は、古い！」とするのが、現代社会の風潮ですが
残念ながら、いくら考え方が古かろうと、それが「男性の本能」なので
そんな社会の風潮が、多くの男性にストレスを感じさせているのも事実です。
人間の思考は、本能には逆らえませんからね。

年収1000万円以上稼ぐ、女性弁護士とバイトしかしていない家事手伝いの女性と
どちらの女性と結婚したいか？をお客様に聞いてみると良いでしょう。
多くの男性が後者を選択するはずです。

○男性は身近な物事が見えにくい



男性は、遠くの獲物を狩る本能があるため、視野が狭く身近な物事が見えにくい生き物です。しかし、女性は、身近な生活を大切にする本能があるため、視野が広く身近な物事に気づきやすい。

男性は、ちょっとした身近な出来事に気付きにくいので、気の利く女性に好感を抱くものです。

また、大きな夢を追いかけるのも男性特有な所です。目標を遠くに掲げて、常に追い求めているのです。

女性の場合は、身近な物事を大切にするので、現実的な考え方をしてしまいます。男性が語る、どう考えても実現しそうなない壮大な夢もしっかりと聞いてあげるようにしましょう。

○男性は、女性の話が理解できない事が多い



男性は、物事を一つひとつ整理しながら、会話をし
女性は、感覚で会話をします。
また、男性は整理できない情報は記憶していませんが
女性は、意味のない情報でも記憶しています。
男性より、女性の方が記憶する情報が多いという事になります。

女性の会話は、主語がない場合おおく
「この間のあれさあ〜」
「あれってどうなった?」
「あれ」「これ」「それ」が多く会話に含まれているので
男性からすれば「何の話?」となってしまいます。

なので、男性は女性の話を知っているフリをしている事も多々あるので
ちゃんと聞いてもらいたい話は、しっかりと順序だてて話す必要があります。

女性からすれば男性の話は、順序立ててしっかりと話すので
話が長く感じてしまいますが、頭の中で情報を整理しながら話し
そうしないと話の内容を記憶できないという事を理解しましょう。

従って、長い話も「そうなんですな」など、相槌を打ちながら聞くようにいましょう。

また、女性の場合、一つの話が終わっていないのに思いついた話題に変える事が多く
いくつもの話が会話の中で同時進行する事があります。
こうなると、男性は、何の話をしているのか全く解らなくなるので
1つの話題を終えてから次の話をするようにいしましょう。

○男性は縦社会で生きている



男性は、組織やグループなどの序列を常に気にしています。
目上の方に失礼のないよう振舞っているものです。

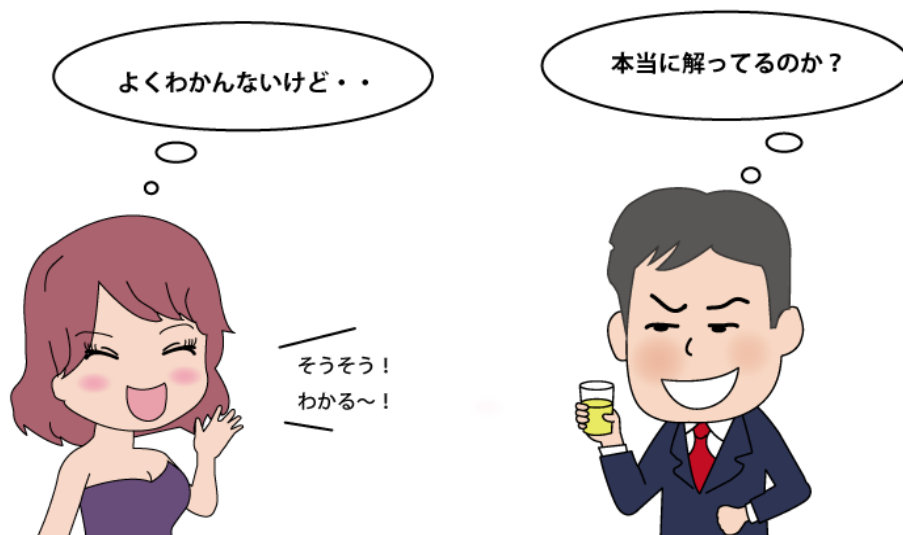
グループで来店したお客様の接客において
その見極めは、非常に大切です。

自分の上司や取引先の方と飲みに来ているのに
自分だけが楽しくむ事を好まないのです。

同席している目上の方がつまらなそうに飲んでいる状態で
自分についたキャバ嬢に一生懸命話しかけられたら
「空気読めよ！」と思われている事があるので要注意です。

そんな席では、隣にいるお客様だけではなく周りを巻き込んで接客する必要があります。

○相槌は、ほどほどに

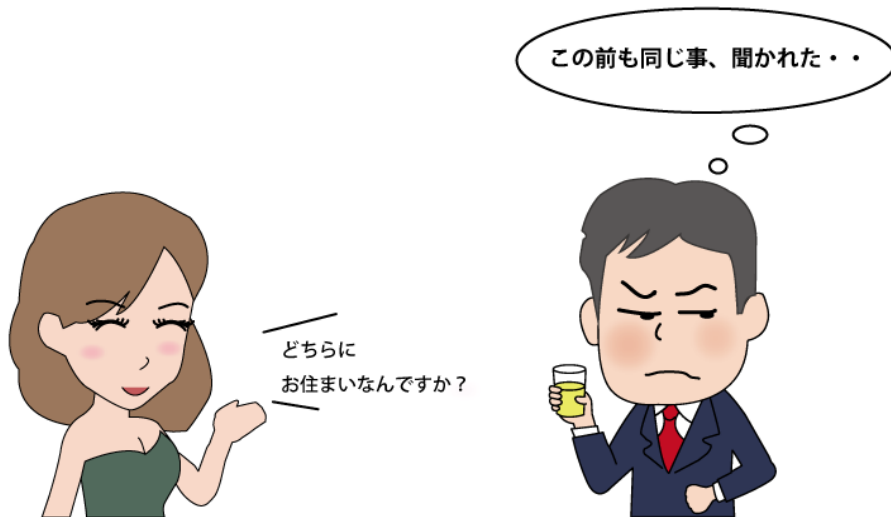


女性は、相手と情報を感情で共有したいと思う事が多いので
会話の中で、「そうそう！」「わかる！わかる！」など相手が相槌を打ってくれると安心します。

しかし、男性は会話の中で情報を伝える事が主であり、感情を共有したいわけではないのです。
従って、会話の中で「そうですよね！」「わかります！」など過度な相槌を繰り返されると
「本当に解ってる？」と違和感を感じてしまう事があるので、注意しましょう。

なので、あくまでも相槌は、「話を聞いてますよ」スタイルでするようにし
解らない所は、ちゃんと質問すると良いでしょう。
話を聞いていなければ、質問も出来ませんか。

○お客様に質問した答えはしっかり憶えておく

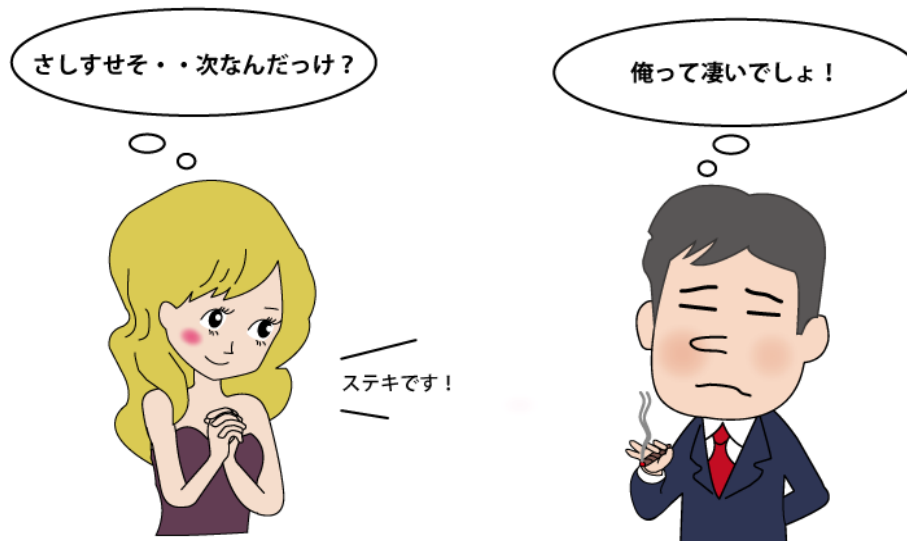


女性は、何度も同じ事を聞かれても、そんなに気になりませんし逆に安心する人も居ますが
男性は、何度も同じ事を聞かれる事をうっとおしく感じてしまいますし
また、「自分に興味がないから忘れるんだ。」と覚えてしまいます。

キャバ嬢の仕事は、多くの男性と会話をするので
細かい事までいちいち憶えていられませんが
男性であるお客様は、質問された事に対して答えた内容はよく憶えているので
会話の内容は、しっかりとメモをするようにしましょう。

例えば、2度目の来店が、ひと月後だったとして
前回の会話の内容を憶えているだけで
「自分に興味を持ってきているんだ！」と、好印象を与えます。

○男性は、女性に褒めて貰いたい



女性は、自分を「わかってもらいたい」生き物ですが
男性は、「褒められたい」生き物です。

特に、女性という時は「俺って凄い！」と思っていたい感情が強くなりますし
酒の席であれば、気が大きくなるので、リアクションの大きい女性を好みます。

女性同士であれば、男性の前だけオーバーリアクションな女性を「嫌な女」と思ってしまうがちです
キャバ嬢の接客では、有効手段なので、しっかりとお客様を喜ばせてあげましょう！

女性からすると「ホントに？」と思われるかもしれませんが
男性を喜ばせる「さしすせそ」という有名な言葉があります。

さ 最高！さすが！さえてる！
し 信じてる！しらなかった！
す すごい！素晴らしい！ステキ！
せ 世界一！成功だね！絶対大丈夫！
そ 尊敬します！そのとおり！そうだね！

実際に試してみましよう！我が子を褒めるように褒めるだけで良いのです。

○男性にダメ出しは厳禁

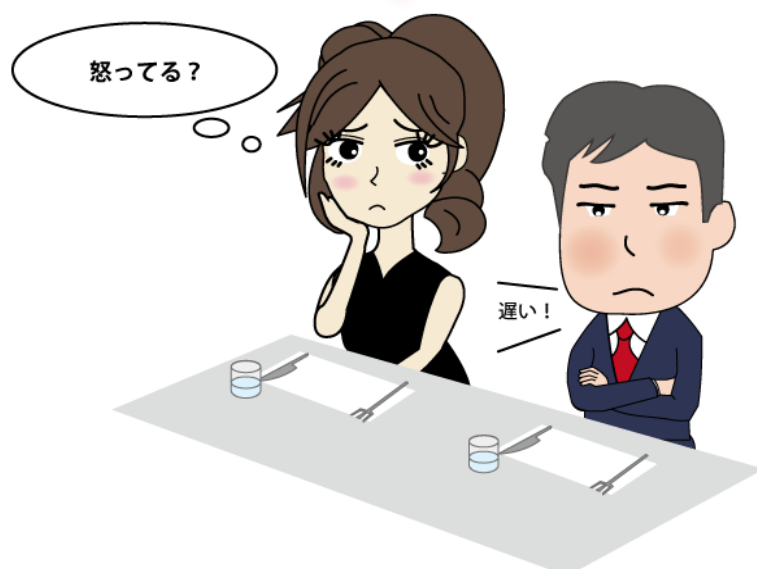


女性の場合、悩みに対して解決策を求めるのではなく、共感を求めている事が多いので「うん、うん」「そう、そう」「わかるよ」という返答で大丈夫なのですが男性の場合は、共感、同意して欲しいのではなく解決策を求めているので「〇〇してみるはどうか？」と、自分なりの考え方を提案すると良いでしょう。

ただし、「〇〇だからダメだったんじゃない?」「そんな考え方だからダメじゃないの?」というダメ出しをされると、男性は攻撃されていると感じてしまうので要注意です。

特にキャバクラに飲みに来る男性の場合は「俺様」思考が強い人が多いのでダメ出しに要注意です。

○男性にとって食事はお腹を満たす事

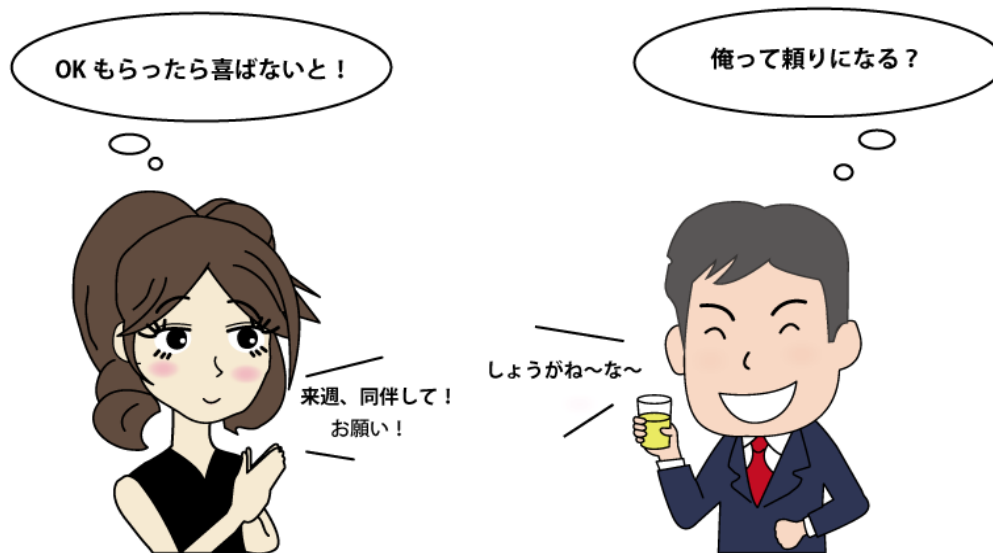


女性の場合、外食をする時は、食べている時間そのものを楽しむので
雰囲気など、食事と言う行為そのものを楽しみますが
男性の場合、食事はお腹を満たす為の行為であり雰囲気は二の次なのです。

その為、「出てくるのが遅い!」「量が少ない!」など男性は普通に口にしますが
食事という行為を楽しむ女性にとって、その言葉は「クレーム」と感じてしまいます。

同伴時にお客様と食事をしている時、自分が選んだお店で、そんな事を言われると
お店を選んだ自分が悪いような気持ちになりますが
男性にとっては、思った事を口にただけでクレームを言っているわけでもなく
逆に、ダメな所を教えてあげているくらいの気持ちなので、深く考える必要はありません。

○男性は、女性に頼られるだけで心地よい



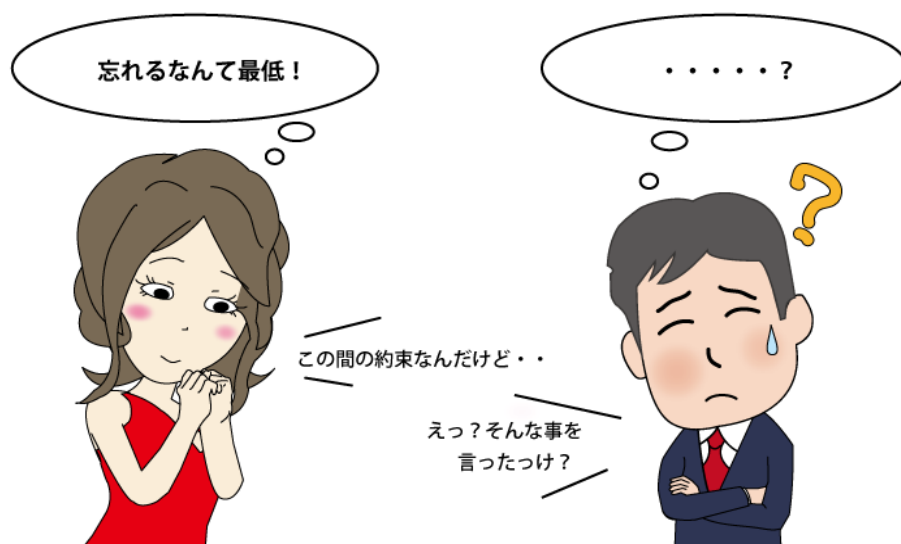
女性には、子供を育てるという母性本があるので
ちょっとした男性のミスに対して、「私がいなきゃダメなんだから！」とついそう思ってしまう。

しかし、男性は、「女性を守る」という本能があるので女性は守る対象なのです。
あれやこれやと、何でもこなす女性は、男性からすれば守る対象にならなくなり
男性が活躍する場所を奪っている事になります。

男性が最も惹かれる女性は「問題を抱えた美人」とよく言われる理由はそこにあり
男性は、女性に頼られたいという願望を常に抱いているのです。

お客様には、しっかり甘えて、活躍する場を提供するようにしましょう。

○男性は、自分で言った事を忘れる生き物である



女性の場合、出来事とその時の感情の結びつきが強く、相手のその時の言葉をよく覚えています。それは、身近なモノを大切にする女性特有の機能です。

男性は、その時々々の出来事や自分で言った言葉も、時と共に忘れてしまいます。日常的に発生するストレスも比較的忘れやすく簡単に解消してしまいます。男性特有の過去の出来事より未来を追い求めている思考がそうさせるのです。

男性と女性が言った、言わない、で口論になるのもその為です。

従って「今日はお金持っていないから次に来た時に必ずシャンパンを入れるよ！」と、言っていたお客様が、一月後に来店して、すっかり忘れている事はよくある事です。特に、お酒の席で自分が何を言ったか? など、いちいち憶えていなと思っていた方がよいでしょう。

「前に来た時にシャンパンを入れてくれるって言った!」と責めてしまうと自分に全く記憶にない事で責められている気持ちになっているかもしれないので注意しましょう。

大切な約束は、メールやLINEなどで、文章に残すようにしなければなかなか記憶できないのが、男性という生き物なのです。

○男性は、女性に好意を持たれて嫌な気がしない



お客様とメアドなどの交換をし、連絡先を覚えて貰ったら
しっかりと、お礼のメールをしましょう。

お店で、一度会っただけの男性にメールする内容に悩む方もいらっしゃいますが
難しく考える必要はありません。

「楽しかった」などの嬉しい気持ちを添え、あとは「ありがとう。」と感謝の気持ちを一緒に伝えて下さ
「また、お会いしたい」と、気持ちをストレートに伝えても大丈夫です。

女性に好意を持たれて、迷惑だと感じる男性はいないのです。

○「好みの男性のタイプは？」と聞かれたら



お客様に「好みの男性のタイプは？」と聞かれる事があると思いますが、聞いてきたお客様に全く当てはまらない回答をすると、指名してもらえなくなるので注意しましょう。相手の好みではない自分と思わせるより「俺にも当てはまるかも？」と思わせておいた方が会話が楽しくなるからです。

《どんな男性にもあてはまる無難な回答》

「頼りがいがある人」「包容力のある人」

男性は、女性から頼られたい、甘えられたい、という願望を思っているのです、どんな男性にも当てはまります。

「挨拶がきちんとできる人」

挨拶が出来ない人の方が少ないので、無難な回答となりますし、挨拶が出来るだけで、自分にもあてはまる！と思って貰えます。

「優しい人」

定番の回答となりますが敢えて女性に冷たくする男性は、居ないので無難な回答と言えます。

「一生懸命努力する人」

自分は、怠け者だと言葉にする人ほど努力していますし、自分は努力しない人だと思っている人は殆ど居ないので無難な回答と言えます。

《ターゲットを絞った回答》

質問をして来たお客様にターゲットを絞って回答する場合は、そのお客様の容姿と絞って答える事もありだと思います。

身体を鍛えているお客様なら
「筋肉質な人」

メガネをかけているお客様なら
「メガネの似合う知的な人」

おしゃれなお客様なら
「おしゃれな人」

趣味が合うお客様なら
「一緒に〇〇を楽しめる人」

○男子スタッフもお客様と同姓だという事を忘れてはいけない



お店の運営において、キャバ嬢だけではなく男子スタッフもいます。
当然、キャバ嬢と男子スタッフのやり取りをお客様は目にしています。

男子スタッフは、常に低姿勢で女子キャストに接しますが
それに慣れてしまうと、ついつい上から目線で、ものを言ったりしてしまいます。

その状態に慣れてしまうと、お客様の前でも上から目線で
男子スタッフに言葉を向けてしまう事があるので注意が必要です。

お客様は「同性」というだけで、男子スタッフにも仲間意識が働いており
強い女性に魅力を感じないからです。

キャバ嬢に冷たい態度をされている男子スタッフを
妻が自分に接する態度と重ねてしまうかもしれません。
また、女性上司にこっぴどく叱られている自分と重ねてしまうかもしれません。

逆に、男子スタッフに対して、優しく丁寧に接するキャバ嬢は、お客様に好印象を与えます。